

CONTENTS

- P1 第73回全国植樹祭 いわて2023 警衛  
井上美昭様よりご寄付
- P2 警視庁災害警備総合訓練
- P3 新潟県警察視閲式/沖縄県警察本部訪問  
Member's Lounge 「世界はどこへ向かうのか」齋木昭隆氏

発行所 一般社団法人  
機動隊員等を励ます会  
〒103-0025 東京都中央区  
日本橋茅場町 3-2-10 鉄網会館  
発行人 中村 真一  
TEL 03(5614)0710  
FAX 03(5614)0719  
http://www.hagemashi.com  
jimukyoku@hagemashi.com

令和5年  
9月号

# はげまし

For the Riot Policemen & Members

— No.566 —

## 第73回 全国植樹祭 いわて2023 警衛



「奇跡の一本松」の前で警戒する警察官



自動車お列警備の状況(大船渡市)

**天皇皇后  
両陛下が行幸啓  
4年ぶりに  
現地へ御臨席**

去る6月4日、岩手県陸前高田市の高田松原津波復興折念公園において、全国植樹祭いわて2023が開催された。大会開催にあたり、岩手県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊が警衛に従事した。



沿道警衛の状況(陸前高田市)



式典会場警衛の状況



警備犬による不審物の検索(花巻空港)

全国植樹祭は国民に森林への愛情を養ってもらうため、(公社)国土緑化推進機構と都道府県の主催で毎年開かれている。近年はコロナ禍での感染拡大防止のため、2020年は開催が延期となり、21年、22年は天皇皇后両陛下がリモートで御臨席された。今回4年ぶりの直接現地での御臨席となった。両陛下が東日本大震災の被災地を実際に訪問されるのは即位後初めて。両陛下が岩手県を訪問されたのは2日間(6月3日、4日)、訪問先や沿道などで大勢の県民が両陛下を出迎えた。今回の開催にあたり、岩手県警察と第2管区海上保安本部は、式典会場の陸前高田市など

県内の警備を鉄壁にすべく準備を重ねた。県警は要人警護や雑踏警備の点検を重ね、交通規制も実施。釜石海上保安部は漁業者らに航行自粛などの協力を要請した。

4日午後2時から開かれた植樹祭式典には、約4200人が参加。はじめに震災の犠牲者に対して、全員で黙とうをささげた。天皇陛下は「復興の象徴である『奇跡の一本松』が立つ公園において、皆さんと一緒に植樹を行うことができることをうれしく思います。こうした活動がさらに未来に向けて大きく広がっていくことを願います」とお言葉を述べられた。

その後、「奇跡の一本松」の木

片を使用したピアノやバイオリンなどの演奏が披露された。音楽が流れる中、両陛下は岩手県の木である南部アカマツや、ハマナスなどの苗木を植えられた。

岩手県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊は、両陛下の行幸啓先の沿道での交通規制や、欲送迎者の対応を行った。また式典会場周辺では不審物の検索などを徹底し、無事に警備を完遂した。



式典会場周辺の排水溝内を検索

→ 今月の賛助広告会員 →

- 芝本産業(株)
- 岡部(株)
- 日鉄物産(株)
- 日鉄ステンレス(株)
- 新ケミカル商事(株)
- 平和農産工業(株)
- 東海鋼材工業(株)
- 大阪製鐵(株)

**井上美昭様よりご寄付**

井上美昭様より30万円のご寄付を頂戴しました。沖縄県警察本部機動隊、国境離島警備隊に洗流機、トレーニング機器等を寄贈させていただきました。ありがとうございます。(一)励ます会(事務局)

# 災害警備総合訓練、警視庁

## 先人の思いを引き継ぎ、災害対応力のさらなる強化を

去る6月29日、東京都江戸川区篠崎町の河川敷において、警視庁災害警備総合訓練が行われた。災害対策課や機動隊などの約600人に加え、千葉県警察や陸上自衛隊、海上保安庁、東京消防庁などの約100人が参加。当会からは中村理事長、樋口相談役、伊澤常任理事、岩井一祐氏(株)三榮商會専務取締役、梅垣亮昌氏(株)梅垣組取締役)が見学した。

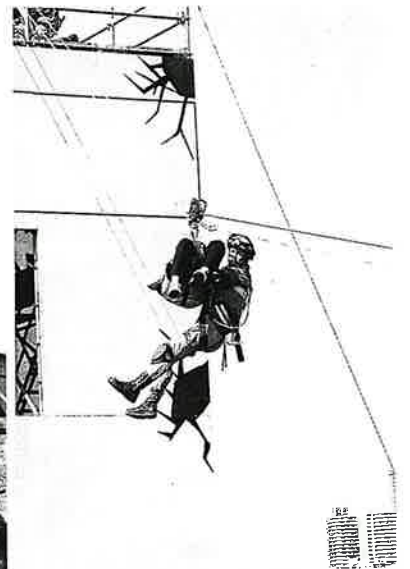
訓練は、災害時に起きたバスなどが絡む多重事故での対応手順や、被災した建物からのけが人の救助などが行われた。多重

事故の訓練では、篠崎第二小学校の児童らも参加し、警察官の誘導で避難した。土砂崩れに住宅や車が巻き込まれた想定では、多目的活動車や水陸両用車といった特殊車両も活用。被災者の捜索では警備犬も登場した。

さらに、河川の決壊といった水害を想定した訓練では、漂流した人をボートに乗せて救助にあたり、陸上自衛隊のヘリコプターでは浸水した家屋に取り残された漂流者を抱きかかえてロープでつり上げる「ホイスト救助」による救出訓練が行われた。

訓練は終始、機動隊員らによる大きな声での号令や声掛けが行われた。声掛けは要救助者への勇気づけ、救出活動の進捗確認、さらに隊員同士の円滑な連携・コミュニケーションに必要な不可欠なものである。

訓練終了後、小島警視總監は「災害は時と場所を選ばずに発生する。本年5月には石川県能登地方で震度6強の地震が発生したほか、関東においても千葉県で震度5強の地震が発生し、さらに6月の台風2号では線状降水帯の影響により、和歌山県・愛知県・静岡県など広範囲で記録的な大雨となり、それぞれ被害が発生している。また、100年前には東京を中心に甚大な被害をもたらした関東大震災が発生しており、我々警察はいつ起きてもおかしくない首都直下地震に加えて近年激甚化する風水害、都内において降灰が



ビル屋上から負傷者を救出する機動隊員

懸念される富士山噴火など様々な自然災害の発生を想定して準備しなければならない。

また、災害対応力を高めるために、『実践的訓練による救出救助技術の向上、装備資機材の効果的な活用、指揮能力の向上と部隊間の連携強化』に取り組むこと

さらに、本年9月に発生から100年を迎える関東大震災について触れ、「関東大震災においては、先人は警視庁本部や警察署が焼失・倒壊する中、自らの危険を顧みず救出救助や避難誘導に当たった。諸君にあつては先人の思いを引き継ぎ、災害対応力のさらなる強化に努めてほしい」と訓示した。



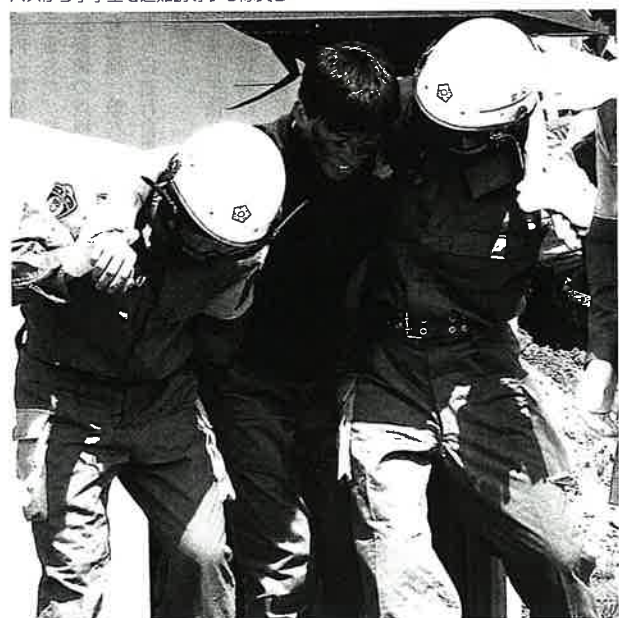
倒壊家屋に取り残された要救助者をヘリコプター“おとり”から救助に向かう隊員



車両に閉じ込められた要救助者を救出



バスから小学生を避難誘導する隊員ら



家屋に閉じ込められた要救助者を救出



浸水現場や悪路などで活躍する水陸両用車“アールゴ”



要救助者の救出に向かう機動隊員

-- 今月の賛助広告会員 --

- 自見産業(株)
- 合同製鐵(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 日鉄建材(株)
- 丸定産業(株)
- 日鉄物流(株)
- 東鋼業(株)

# 新潟県警察視閲式

去る6月10日、新潟県警察視閲式が新潟市中央区の新潟県庁構内で行われた。4年ぶりの開催となった視閲式には、この春採用の新人警察官を含む約300人が参加。観客が見守るなか、関東管区機動隊、広域緊急援助隊などの行進に続き、パトカーなどの車両部隊が登場、ヘリコプターも上空を飛行したほか、デモンストレーションでは交通機動隊の白バイ隊員がテクニカル走行を披露した。

当会からは北爪彰人北陸支部顧問(日本製鉄(株)新潟支店長)、杉浦洋氏(同新潟支店鋼材室長)が見学した。



# 沖縄県警察本部訪問



うるま市機動隊庁舎にて。左端が伊澤常任理事、中央が田中国境離島警備隊長、その右が仲田機動隊長、右端が井上美昭氏

6月23日の「沖縄慰霊の日」を前に沖縄県警察本部を訪問し、警備支援用品キレートレモンCウォーター4800本などを寄贈した。伊澤常任理事と井上美昭氏(会員、元沖縄県警察本部)は、去る6月8日、沖縄県警察本部に鎌谷本部長、市原警備部長を訪問。翌日9日、うるま市の機動隊施設に仲田機動隊長、田中国境離島警備隊長を訪問し、それぞれ活動状況を伺うとともに関連施設を見学した。

機動隊は、災害警備、要人警護警備、重要防護施設の警戒及び米軍基地移設に伴う警備等を行っている。また、国境離島警備隊は、離島への不法上陸に対応する日本初の国境離島警備専門の部隊として2020年4月に発足し、離島警備を行っている。いずれの部隊も昨今の国際情勢の変化を踏まえ、訓練よりも実践配備が多くなる中で練度を上げ、厳しい任務に的確に対応されている。

## Member's Lounge

機動隊員等を励ます会 7月の朝食講演会

世界情勢は先行き不透明な状況となっている。今回は元外務事務次官の齋木氏にお越しいただき、ウクライナの動向や、隣国の中国、日本の安全保障の鍵を握る米、存在感を増すインドの現状、今後の日本のあり方についてご講演いただいた。

### 世界はどこへ向かうのか

<7月20日のゲスト>

さいきあきたか  
**齋木昭隆 氏**  
元外務事務次官、  
公益財団法人中東調査会  
理事長



#### プロフィール

- 1952年 三重県出身
- 経歴
- 1976年 東京大学教養学部卒業  
外務省 入省
- 1988年 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部  
一等書記官
- 1997年 小淵恵三外務大臣秘書官
- 2006年 特命全權公使  
在アメリカ合衆国日本国大使館在動
- 2011年 特命全權大使  
インド国駐劄 兼 ブータン国駐劄
- 2013年 外務事務次官
- 2016年 退職  
三菱商事株式会社 顧問
- 2017年 公益財団法人中東調査会 理事長  
三菱商事株式会社 社外取締役
- 2022年 公益財団法人日印協会 理事長
- 2023年 三菱商事株式会社 取締役 退任

1. ウクライナ戦争の動向  
ウクライナ戦争が連日報じられています。そもそもブーチンはどういう考えに基づき、侵略戦争を仕掛けたのか。ブーチンという人は、独特な歴史観を持っています。ロシア、ベラルーシ、ウクライナの3国はもともと兄弟国で、本来一つになるべき国だという説得力に乏しい議論を展開しているのです。今もロシアに寄り添っているベラルーシがあるべき姿で、ウクライナも同じようにロシアに寄り添うべきであるの言うことを聞かない。そこでブーチンはウクライナの「ネオナチ」勢力がロシア系ウクライナ人を迫害しているとして兵を出したのです。それに先立ち2014年、突然クリミア半島に武力侵攻して、あつという間にクリミアをロシアのものにしました。その成功体験がウクライナに侵攻した際の情勢判断のベースになっています。ただ、ブーチンが思い描いていた展開と現在起きていることは、明らかにギャップがあります。

外部の国で最もウクライナに協力しているのはアメリカとイギリスです。この2か国は的確な情勢判断でゼレンスキーや軍の司令官にロシアの動きを伝え、戦争指導

を行っています。ドイツはウクライナ戦争への危機意識が首相の背中を押し、戦車など武器兵器の供与に踏み切りました。ブーチンは、米、英、独の支援を受けたウクライナの頑強な抵抗にあうと思いませんでした。また、足元のロシア国内では、民間軍事会社「ワグネル」の大変な数の兵隊が命を落としています。ワグネルでは、刑務所の囚人をかき集め、ろくに訓練もせず戦場に送り出しています。ワグネル創設者のプリゴジン氏は、報奨金も出ず十分な武器弾薬が届いていないと不満を募らせ、指導部を名指しで非難しています。

#### → 今月の賛助広告会員 ←

- 日本製鉄(株)
- 新潟スチール(株)
- 日鉄鋼板(株)
- 日鉄鋼線(株)
- 豊田通商(株)
- 共英製鋼(株)
- 山陽特殊製鋼(株)

2. 戦争終結に向けて  
この侵略戦争の終結については、まずNATOにウクライナを入れるかどうか最大の争点となっている。仮にウクライナの加入が認められれば、NATOという集団防衛体制の中にいるウクライナがロシアから侵略を受けることになり、NATO軍として反撃しなければなりません。本格的にロシア対NATOの戦争になることを意味するわけで、バイデンはそれを絶対にしたくないと考えています。第三次世界大戦は絶対に避けなければならない。(P4へつづく)

(P3からつづく)

ロシアを勝たせるわけにはいかない。長期戦でロシアの国力を消耗させ、二度と侵略できない国にするのが、アメリカがウクライナを支援する目的の一つです。

ゼレンスキーは、領土が自分たちの手に戻るまでは停戦のテーブルにはつかないと断言しています。しかし自力でクリミアを取り戻せるかという無理だと思いません。けれどそれをやらないとゼレンスキーは取戻りません。領土の線引きの問題はこれから出てくると思います。

政治のカレンダーで言うと、来年3月にロシアは大統領選挙を迎えます。ウクライナの戦争が早期に終結していればプーチンは圧勝ですが、そういう状況ではない。選挙を仮に延期すると、戦争に足を取られて大統領選挙もできないと言われ、プーチンの権威が失墜します。また、11月はアメリカの大統領選挙です。二つの政治カレンダーを念頭にウクライナ戦争がいっ頃まで今の状況が続くかを見なければなりません。

3. 中国と台湾有事

中国のアキレス腱は二つあり、一つは経済です。コロナ禍の大規模なロックダウンが解除された後も、その後遺症がなかなか治らない。経済は思うように回復していません。経済成長率5%台を目標にしていますが、これは見かけの数字だと思えます。地方政府は膨大な債務を抱えています。中央政府に地方が成長率を報告しなければいけないのですが、大都市を作って整備しても、中に住む人がいない。映画のセットのような空っぽの住宅街があらちこに並んでいます。それでもセメントや鉄鋼を使うことで基本的に経済を動かしています。けれど実態の伴わないことがあちこちで起きています。

また不動産も不況です。中国不動産開発大手の「恒大集団」は多大な債務を抱えています。中央政府

として恒大を救済するために相当な財政負担を背負うのか、他にツケを回すのかわかりませんが、かなり厳しくなっています。表面上は強気ですが、実態は借金地獄みたいなのです。

二つ目は若年層の失業率が20%以上となっていてのことです。エリートが競争を勝ち抜いて大学を出たのに就職できない。習近平政権は「共産党が悪いから就職できない」と、共産党批判に火がつくことを最も恐れています。政府への不満がかなり溜まっている実態があります。

また人口は少子高齢化が進行し、日本の人口のピラミッドにかなり似てきています。三人まで子供を持てると政策を転換しましたが、効果が出るのは15年以上先です。しかし一人つ子で親が面倒をみますから、今の中国人の若いカップルは教育費にお金がかかるため、二人も三人も子供は無理だと考えます。

台湾についてですが、中国が軍事力を使って台湾を統合することを試みれば、直ちに日本に飛び火します。習近平は去年10月の党大会で、台湾を大陸に再統合させるのは中国共産党の歴史的な任務であると高らかに宣言しています。軍事的にやるのか、他のやり方で統合するのか、よく見ておく必要があります。

4. アメリカの保守性

アメリカが世界のリーダーであり続けるかという命題に対しては、他の国に比べて圧倒的に国力がありますからやはり何かあればアメリカは強いのです。ただ、アメリカ力は保守的です。戦争をしていくから助けに行くという発想はまず今のアメリカ人にはないと思えます。ベトナム、イラク、アフガニスタンで多数の若者が命を落としました。有権者の間には、外で戦うことはアメリカにとってプラスにならないという判断がある

と思います。

アメリカがもう一度立ち上がるとしたら、アメリカという国の立脚に直接脅かされた時しかないと思います。今、自由と民主主義を標榜するアメリカ人を脅かすものは二つあり、一つはイスラム過激派です。ただ、この勢力はかなり分散しています。もう一つは中国です。中国が建国100周年となる2049年を念頭に、アメリカを抑えてナンバートンからナンバワンになるまで、習近平はそれが中国の偉大な夢として中国人の一体感を煽っています。この時に何かの計算ミスで武力衝突が起きる可能性はあると思います。

5. インドの台頭

今、インドの注目度が非常に上がっています。人口は4億2860万人です。今年4月に中国を追い抜きました。経済成長率は7.2%。こんな国はありません。

インドはなかなか扱いきれない国です。G20(※1)、BRICS(※2)、上海協力機構など、いろいろな枠組みに参加しています。日本やアメリカと一緒にQUAD(※3)にいる一方、ロシアや中国と一緒にBRICSや上海協力機構の一員でもあります。友達なのか、敵なのか。これは両方なんです。人間関係にならざるを得ない。インドと親友になるのは非常に難しいです。でも仲良くしておいたほうがいい人だと言えます。

インドは基本的に日本が好きです。独立時に日本の助けを借りたというのをインド人は忘れません。そのインドがロシアとも友人関係にある。しかし隣の中国とは宿敵です。アメリカの国賓扱いでモディ首相が渡米しましたが、極めて異例の扱いだと思えます。インドは犬猫に例えようと、猫だと思えます。こちらから近寄ってもふっと逃げてしまう。犬は尻尾を振って懐いてくれますがインドはそういうことはない私は見

ています。

6. 不安定な多極世界と日本

ソ連が崩壊した1991年12月25日から、これからは新しい国際秩序の時代になるだろうと皆が期待しました。しかし、冷戦が終わっても残念ながら新しい国際秩序は生まれていません。国連も機能不全です。世界の安全に対して第一義的な責任を有する五大国の国連安保理のうち、ロシアと中国はことあるごとにアメリカ、イギリスに反対します。国連のシステムは制度疲労を起こしていると思います。かつて我々が期待していた協調よりも対立の時代に入りつつある気がします。

我々は当たり前のよう自由や民主主義、人権の尊重と言っていますが、このメッセージが世界を一つにまとめることができません。なぜなら世界に約200の国がある中で自由と民主主義を謳歌している国は一握りです。途上国は自由民主主義もない独裁国が多い。そうした国に対して自由や民主主義が大事だと言っても全く響きません。国連の総会決議でロシアを非難した時には、これに反対した国も60くらいありました。

ロシアの側にも60くらいあります。して反対や棄権をしたのです。唯一の共通認識になりうるのは法の支配です。国内の法体系と違い、国際関係における法、いわゆる条約です。つまり「合意したことは守りましょう」ということです。特に国境の不可侵や主権の尊重は、アフリカも中東もアジアも賛同してくるはずですが。

世界の中で日本はミドルパワーだと思えますが、戦後77年かけて築き上げた良い評判があります。それをどうメッセージとして他国に発信できるかが問われます。私にはもう少し大きな声でメッセージを出すべきだと思っています。

来年1月の台湾総統選で中国が台湾を影響下に収める可能性について、見解を教えてください。

A 4年前、中国は香港を自分のものに組み込みました。国際社会は厳しく非難しましたが、今ではこれを口にする人はほとんどいないし、香港の住民も静かになってしまっています。中国は台湾も同じようにできると思っている可能性はあります。ただ血を流すやり方は習近平にとってリスクが高い。だから来年の総統選挙に向けて、中国は台湾国民党の候補者を勝たせるためにあの手この手を使っています。台湾の中にも中国と通じている人はたくさんおり、台湾の人たちは血を流したくない。来年1月に、数年間どういうせめぎ合いがあるか、注意をする必要があります。

世界に向けたメッセージとして、日本はどのように発信していけば良いでしょうか。

A アジアの一員としてインドのような国と一緒にやっていくのが、私は一つの外交の知恵ではないかと思っています。中国のように大きな野心を持つ国は、インドにとっても日本にとっても気になる存在です。中国のことを声高に言う必要はありませんが、「主権はきちんと守ろう」とか「武力を使うのはよくない」といったことを巧みな表現でインドがメッセージを出し、日本も「一緒になってやる」と言うことで、途上国には非常に響くメッセージだと思えます。

ウクライナ戦争の問題で、いわゆる戦術核の使用が本当に起こるのか、見解を教えてください。

A 戦術核の行使をプーチンが決断しようとしても、プーチンの言う通りに動かない軍の司令官がロシアにはたくさんいます。万が一、核の行使となれば、アメリカは黙っていないと思います。しかし、あまりに悲惨な事態です。その前にプーチンを失脚させるように

皆が注力すると思います。

北朝鮮問題を中国はどう見ているのでしょうか。

A ミサイルを撃つ資金が北朝鮮のどこにあるのか、中国はなぜ止めないのか、クエスチョンマークがたくさんありますが、資金は中央銀行などへのサイバー攻撃でいろいろな国から盗み取り、そのままミサイル開発に使われていることが突きとめられています。かつて中国が資金援助していると言われていたが、その必要がないぐらい自分たちが調達できています。中国が北朝鮮を見捨てるれば、北朝鮮はアメリカに擦り寄りやす。その事態を恐れて、中国は必死に北朝鮮を自分の側に引き止めています。

※1 G20に77に参加する7か国(フランス、アメリカ、ドイツ、イタリア、日本、インド、韓国)と新興国12か国(ブラジル、インドネシア、ロシア、メキシコ、韓国、インドネシア、南アフリカ)の計20の国々と地域からの国際会議 ※2 BRICs(2009年に以降に著しい経済発展を遂げた4か国(ブラジル、ロシア、インド、中国) ※3 QUAD(日本、豪州、インド、米国)の安保や経済を協議する枠組み

編集後記

8月は長崎、広島を平和祈念式典があり、また100万人を超える観客となった隅田川花火大会をはじめ、各地で花火大会が再開されました。コロナ禍から日常に戻りつつある中で、機動隊員等の皆さんの整備対策も増え、酷暑も加わり厳しい夏となりました。皆さんお疲れさまでした。(励ます会事務局)

今月の賛助広告会員

- 五十鈴(株)
(株)モノリス
藤田金屬(株)
日鉄エンジニアリング(株)
日鉄ドラム(株)
富士興業(株)